

## 欲張り

稲宮 健一

戦後の食べ物がいよいよ、たまたま甘いお菓子のもらい物があったとき、兄弟の分まで手を出したことがあった。三代以前は加賀の門徒宗の家の出で、欲張は良くないといしばしば言われた。その頃、「欲の皮が突っ張っている」とか「我利我利亡者」という言葉を聞いたが、この頃は聞かない。成人してから、欲も多面的で、自己を少しでも高めに自己実現させる意欲はなくてはならないが、他人を顧みず、自分の分だけ増やす強欲は身勝手だと思っている。

現在、米国は皆が認めるスーパーパワーである。よって来る所以は中緯度地帯にある広大な国土に恵まれ、ブレッドバスケットと呼ばれている地帯で豊富な食糧を生産でき、西欧から引き継いだ勤勉と、自由な発想を基に工業を起こし、豊かな生産手段を獲得し、国の基礎を確立した。米国を世界国家に押し上げた要素として、二つの世界大戦が大きく影響している。大戦で疲弊した西欧から多くの移民が流入した。特に、第二次大戦ではユダヤ人が迫害を避けて多くの移民があった。特に、西欧の荒れた国土を避け、世界の頭脳が移ってきた。また、移民の二世、三世以降になると国の礎になる人材が輩出してくる。同時多発テロがあっても、国土に大きな混乱はなく、これらから国の繁栄に戦争の混乱がないことが如何に大切であるかが分かる。

ところが、今ロシアによるウクライナ侵攻とイスラエルとハマス間の凄惨な争いが続いている。米国は旧大陸から離れて、今は平穏だが、この繁栄は決して旧大陸の社会と無縁ではない。来年からMAGAと叫んで、自国最優先が幅を効かす雰囲気があるが、なぜ、MAGA(Wは世界)と言わないのか。これだけ通商にしろ、世界中が繋がってはじめて、その恩恵を享受できるのに、分断して見えない壁が世界にできると争いの基になる。ディールという言葉が流行っているが、取引では二者間、双方が望むもの手に入っても、双方にとって有難いと思われなければ、後に災いを残す。